I·O DATA

はじめにお読みください

DVD-ROM 取扱説明書

DVD-i16/US2

株式会社 アイ・オー・データ機器

91025-01

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
3) 本製品及び本書の内容について、不審な点やお気づきの点がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。
4) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。
5) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。
国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
6) 本サポートソフトウェアの使用にあたっては、バックアップ保有の目的に限り、各1部だけ複写できるものとします。
7) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
8) 本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
9) 書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
10) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関る設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
11) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
12) お客様は、本サポートソフトウェアを一時に1台のパソコンにおいてのみ使用することができます。
13) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に対する再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
14) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。

- I-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
- i・CONNECTおよびi・CONNECTロゴは、株式会社アイ・オー・データ機器の商標です。
- Microsoft,Windows,WindowsNTは、米国 Microsoft Corporationの登録商標です。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

DVD-i16/US2 取扱説明書
2001.May.31 91025-01
発 行　株式会社アイ・オー・データ機器
〒920-8512 石川県金沢市桜田町3丁目10番地

© 2001 I-O DATA DEVICE,INC. All rights reserved.
本製品及び本書は著作権法により保護されておりますので
無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。

「PowerDVD VR-X」のお問い合わせ

●お問い合わせ先　　サイバーリンク株式会社
ユーザーサポートページURL　http://www.cli.co.jp/support/
E-mail　support@cli.co.jp
FAX番号　03-3662-8009
電話番号　03-3662-8076
電話受け付け時間　10:00～13:00、14:00～17:00
月～金曜日(祝祭日を除く)

必ずお守りください

ここでは、お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。
ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

This product is for use only in Japan.　We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.

■警告及び注意事項

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵記号の意味

△

この記号は注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。
例）　「発火注意」を表す絵表示

⃠

この記号は禁止の行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。
例）　「分解禁止」を表す絵表示

●

この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。
例）　「電源プラグを抜く」を表す絵表示

⚠ 警告


厳守

本製品を使用する場合は、ご使用のパソコンや周辺機器のメーカーが指示している警告、注意表示を厳守してください。


電源プラグを抜く

煙が出たり、変な臭いがしたや音がしたら、すぐに使用を中止してください。

電源を切ってコンセントから電源プラグを抜いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。


分解禁止

本製品を修理・改造・分解しないでください。

火災や感電、やけど、動作不良の原因になります。
修理は弊社修理係にご依頼ください。分解したり、改造した場合、保証期間であっても有償修理となる場合があります。


発火注意

本製品を取り付ける場合は、必ず本書で接続方法をご確認になり、以下のことにご注意ください。

- 接続ケーブルなどの部品は、必ず添付品または指定品をご使用ください。故障や動作不良の原因になります。
- 接続するコネクタやケーブルを間違えると、パソコン本体やケーブルから発煙したり火災の原因になります。


厳守

本製品の取り付け、取り外しの際は、必ず本書で、取り付け取り外し方法をご確認ください。

間違った操作を行うと火災・感電・動作不良の原因となります。


禁止

本体を濡らしたり、お風呂場などでは使用しないでください。

火災・感電の原因となります。お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用は、特にご注意ください。


厳守

AC アダプタについては以下にご注意ください。

- ●必ず添付のＡＣアダプタを使用してください。
- ●電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。
- ●電源コードをＡＣコンセントから抜く場合は、必ずプラグ部分を持って抜いてください。コードを引っ張ると、断線または短絡して、火災および感電の原因となることがあります。
- ●電源コードの電源プラグは、濡れた手でＡＣコンセントに接続したり、抜いたりしないでください。感電の原因となります。
- ●電源コードがＡＣコンセントに接続されているときには濡れた手でパソコン本体に触らないでください。感電の原因となります。


厳守

内部のレーザー光線を直視すると視覚障害を起こす恐れがあります。内部をのぞきこまないでください。

⚠ 注意


注意

本製品を使用中にデータなどが消失した場合でも、データなどの保証は一切いたしかねます。

故障に備えて定期的にバックアップをお取りください。


禁止

本製品は以下のような場所で保管・使用しないでください。

故障の原因になることがあります。

- ●振動や衝撃の加わる場所
- ●直射日光のあたる場所
- ●湿気やホコリが多い場所
- ●温度差の激しい場所
- ●熱の発生する物の近く（ストーブ、ヒータなど）
- ●強い磁力電波の発生する物の近く
  （磁石、ディスプレイ、スピーカ、ラジオ、無線機など）
- ●水気の多い場所（台所、浴室など）
- ●傾いた場所
- ●腐食性ガス雰囲気中（Cl_2、H_2S、NH_3、SO_2、NO_Xなど）
- ●静電気の影響の強い場所


禁止

本製品は精密部品です。以下の注意をしてください。

- ●落としたり、衝撃を加えない
- ●製品の上に水などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
- ●重いものを上にのせない
- ●本製品のそばで飲食・喫煙などをしない


厳守

アクセスランプ点灯中に電源を切ったり、パソコンをリセットしないでください。

故障の原因になったり、データが消失するおそれがあります。


注意

本製品（ソフトウェア含む）は、日本国内仕様です。

本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、およびアフターサービスなどを行っておりません。あらかじめ、ご了承ください。

はじめに

このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用の前に本書をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いいたします。

本製品はUSB接続のDVD-ROMドライブです。
本製品を使えば、DVD-ROMのデータを読み込んだり、DVDビデオを見ることもできます。（USB(1.1)で接続した場合はDVDビデオ再生時にコマ落ちします。）



【USB】
パソコンと周辺機器を接続する規格の１つです。接続のしやすさ、増設のしやすさなどの特徴があります。以下の2つのバージョンがあります。

【転送速度】

USB(1.1)： 12Mbps（理論値）
USB 2.0 ：480Mbps（理論値）

USB 2.0では、既存のUSB(1.1)機器をそのまま接続できます。

● 呼び方

本製品	DVD-ROMドライブを含む添付品すべての総称
ディスク	DVD-ROMディスク、CD-ROMディスク、CD-Rディスク、CD-RWディスクの総称
Windows Me	Microsoft® Windows® Millennium Edition
Windows 98	Microsoft® Windows® 98 Operating Systemおよび Microsoft® Windows® 98 Operating System Second Editionの総称
Windows Me/98	Windows MeおよびWindows 98の総称
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional
Windows	Windows Me/98およびWindows 2000の総称

● 使用しているアイコン

	《注意》 注意してほしい事項を記述しています。必ずお守りください。
	《コラム》 用語解説や本製品を使う上で役に立つ情報を記述しています。
	《参照》 参照先のページを表記しています。

もくじ

必ずお守りください・・・・・・・・・・・・・・・・・・ i
はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ v
もくじ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ vii
DVD-ROMドライブを使うまで ・・・・・・・・・・・・・ ix

使う前に・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

箱の中の確認 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
各部のなまえ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
動作環境の確認 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

使う準備をする・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

１．インストール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１０
２．つなげる ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１２
３．基本操作をおぼえる・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１５
４．音楽CDを聞く・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２３

使ってみよう・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ３３

DVDビデオを見る・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３４

付録 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 35

CD-ROMでインストールできない ・・・・・・・・・・・・・・・・ 36
インストールしたドライバの削除 ・・・・・・・・・・・・・・ 41
困った時には ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 43
仕様 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 56

お問い合わせ先 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 58

PowerDVD VR-X ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 58
DVD-ROMドライブ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 59
サポートソフトのバージョンアップ・・・・・・・・・ 61
修理について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 62



コラムのもくじ

**USB ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

DVD-ROMドライブを使うまで

DVD-ROMドライブが使えるようになるまでの手順と使用上のご注意を説明します。

DVD-ROMドライブを使うまでの手順

以下の流れにしたがって、DVD-ROMドライブを使う環境をつくりましょう。
“☺”を読めば本製品を使うことができます。

箱の中の確認
内容物リストです。
☞ 2ページ

▼

各部のなまえ
各部の機能説明です。
☞ 4ページ

▼

動作環境の確認
本製品を使うときに必要なパソコンの種類です。
☞ 6ページ

▼

☺ **使う準備をする**
お使いのパソコンで本製品を使う準備をしてから、つなげます。
☞ 9ページ

▼

☺ **使ってみよう**
本製品添付のソフトウェアについて説明します。
☞ 33ページ

ご注意

ソフトウェアの「README.TXT」を必ずご覧ください。

●使用する際の注意

■ケーブルを抜くときは、ケーブル部分を引っ張らないで、コネクタを持って抜いてください。

■本体内部に液体、金属などの異物が入らないようにしてください。また、本体についた汚れなどを落とす場合は、柔らかい布で乾拭きしてください。
洗剤で汚れを落とす場合は、必ず中性洗剤を水で薄めてご使用ください。
ベンジン、アルコール、シンナー系の溶剤を含んでいるものは使用しないでください。

■レンズには触れないでください。音とびやデータの書き込み・読み込み時の不具合の原因になります。



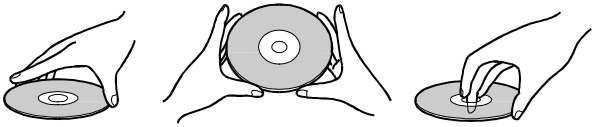
市販のクリーニングキットを使用して、本製品のクリーニング作業を行わないでください。故障の原因となります。

●地域コード（リージョンコード）について

本製品は、日本の地域コードである2に設定されています。
ソフトウェアDVDプレーヤーなどで他の地域コードに設定した場合、弊社では保証いたしかねます。あらかじめご了承ください。

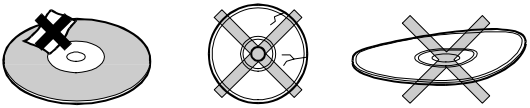
●ディスクの取り扱いについて

■ディスクを直接持つときは光沢のある場所に触らないようにしてください。両端をはさむようにして持つか、中央の穴と端をはさんでください。



■正しい再生をするためと、振動や回転音が大きくなるなどのトラブルを防ぐため、ディスクに紙やシールなどを貼らないでください。

■ひびの入ったディスクや反ってしまったディスクは絶対に使用しないでください。また、割れたディスクをテープ類や接着剤で貼りあわせて使用しないでください。高速回転しますので、欠陥のあるCDは危険です。



■ディスクに異物（CD-Rディスクの仕切りなど）が付いていないことを十分ご確認の上、ドライブに挿入してください。異物が付いたまま挿入すると、故障の原因になります。

●本製品の修理は弊社修理センターにご依頼ください。

■詳細は62ページの【修理について】をご覧ください。

使う前に

ここでは、本製品を使う前の作業について、順を追って説明しています。

箱の中の確認

内容物リストです。
☞ 2ページ

▼

各部のなまえ

各部のなまえを確認します。
☞ 4ページ

▼

動作環境の確認

本製品を使うときに必要なパソコンの種類です。
☞ 6ページ

箱の中の確認

ご使用の前に以下のものがそろっていることを □ にチェックをつけながら
ご確認ください。
万一、不足品がありましたら、弊社サポートセンターまでお知らせください。

注意

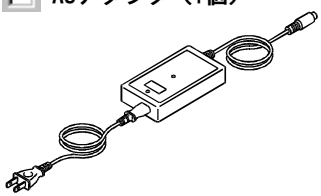
・箱・梱包材は大切に保管し、修理などの輸送の際にご利用ください。
・イラストは若干異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

●内容物

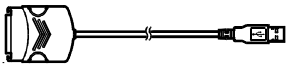
□ DVD-ROMドライブ（1台）



□ ACアダプタ（1個）



□ USB 2.0コンバータケーブル
（1本：約100cm）



●添付ソフトウェア

☐ **DVDビデオスターターキット（US２）（CD-ROM：1枚）**



▼内容

- **USB 2.0コンバータケーブルのドライバ**
  （添付のUSB 2.0コンバータケーブルを USB 1.1で使用するためのソフトウェア）
- **DVDビデオ再生ソフトウェア**
  「PowerDVD VR-X」

●その他

- ☑ DVD-ROM取扱説明書（本書）
- ☐ ハードウェア保証書
- ☐ ハードウェアシリアルNo.シール
- ☐ ユーザー登録カード
- ☐ PowerDVD VR-Xクイックガイド
- ☐ クイックリファレンス「DVDビデオを観よう」

コラム

ドライバ

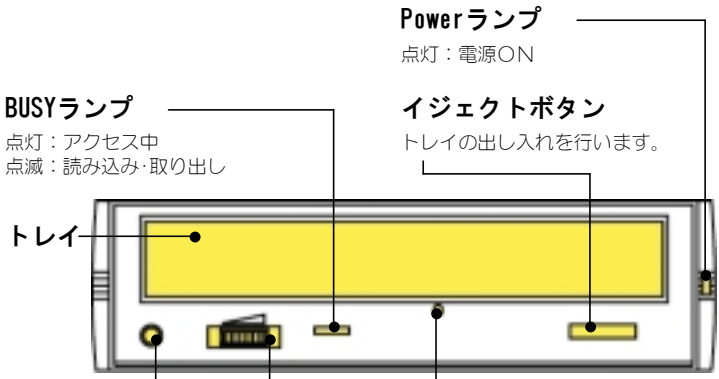
パソコンの周辺機器を制御するソフトウェアのことです。

本製品では、「DVDビデオスターターキット」CD-ROM内にあります。

各部のなまえ

各部の名称および機能の確認を行います。

●DVD-ROMドライブ前面



注意

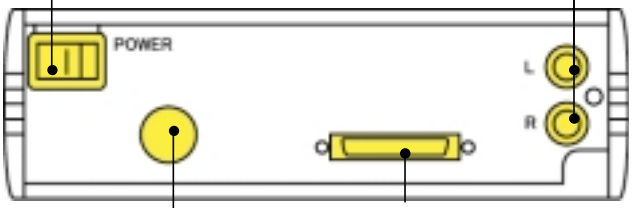
BUSYランプの点灯中は、パソコンをリセットしたり、電源を切ったりしないでください。故障の原因となります。

●DVD-ROMドライブ背面

電源スイッチ
電源をON/OFFにします。

ON　OFF

LINE OUT端子（アナログ）
ステレオアンプなどのオーディオ機器を接続します。



電源コネクタ
添付のACアダプタを接続します。

i・CONNECT(コネクタ)
USB 2.0コンバータケーブルを接続します。

●USB 2.0コンバータケーブル

i・CONNECT対応コネクタ
DVD-ROMのi・CONNECTと接続します。



USBコネクタ(Aタイプ)
パソコンのUSBポートに接続します。

注意

本製品に添付の「USB 2.0コンバータケーブル」は、本製品のDVD-ROMドライブのみお使いいただけます。他のi・CONNECT搭載ドライブに、添付のUSB 2.0コンバータケーブルを接続しての使用は保証いたしかねます。

動作環境の確認

本製品をお使いになるためには、お使いのパソコンが以下の機種やOSである必要があります。対応していることをご確認ください。
本製品添付ソフトウェアは、下記の機種で問題無くお使いいただけます。

●対応機種・OS

CPU Pentium 100MHz以上で、USBポートを装備した以下の機種です。
（弊社製USBインターフェイス製品を搭載した機種も含む）
また、インストール時に別途CD-ROMドライブが必要となります。
本製品以外のCD-ROMドライブが無い場合は、36ページをご覧ください。

対応機種	対応OS（日本語版に限る）
NEC PC98-NXシリーズ **DOS/Vマシン ※1※2** **弊社では、OADG加盟メーカーのDOS/Vマシンで動作確認を行っております。**	Windows Me※3 Windows 98 Second Edition※3 Windows 98(ServicePack 1以降)※3 ※4 Windows 2000※5

※1 USB(1.1)環境では、以下の機種を除く。
IBM製 Aptiva E21/31/17/27/47シリーズ、
東芝製 Dynabook SS PORTEGE6000、Satellite2520シリーズ、
SOTEC製 e-note M260TX2/TX3

※2 USB(1.1)環境のCOMPAQ製 PRESARIO 3566/3567/3576/3581/3590では、パソコンBIOSのアップデートが必要です。詳しくはコンパック プレサリオ サポートセンターまでお問い合わせください。

※3 USB 2.0環境は、本製品と弊社製USB 2.0インターフェイス製品の組み合わせで実現できます。その他の環境では、USB(1.1)環境での動作となります。USB(1.1)について詳しくは次ページのコラムをご覧ください。

※4 Windows Updateにて「Windows 98 System Update」を行うか、Service Pack 1によるUpdateを行ってください。

※5 USB(1.1)環境のみの動作となります。USB(1.1)について詳しくは次ページのコラムをご覧ください。（USB 2.0については対応予定です。最新情報は、弊社ホームページやカタログをご覧ください。）



インストール

ソフトウェアをパソコンにコピーして、使える状態にすることです。

本製品のUSB(1.1)での動作について

USB(1.1)の環境では仕様により、DVDビデオの再生時にコマ落ちが発生します。
（本書に表記している読み込み速度は、本製品のDVD-ROMドライブが持つ最大性能です。）

USB 2.0の環境が無い場合

別売の弊社製USB 2.0インターフェイス製品を使用すると、USB 2.0動作が可能となり、快適にDVDビデオが再生できます。
また、別売の弊社製i･CONNECTオプション「1394-iCN」または「CI-iCN」(CardBusモード)を使用しても、快適にDVDビデオが再生できます。
最新情報は、弊社ホームページ（http://www.iodata.co.jp/）でご確認ください。

MEMO

使う準備をする

本製品を使えるようにするには、以下の作業が必要になります。手順にしたがって準備しましょう。

1．インストール

USB 2.0コンバータケーブルをお使いのパソコンで使えるようにするための作業をしてください。

10ページ

▼

2．つなげる

DVD-ROMドライブをパソコンにつなげてください。

12ページ

▼

3．基本操作をおぼえる

次回からのつなげ方、外し方、ディスクの入れ方/出し方をおぼえてください。

15ページ

▼

4．音楽CDを聞く

本製品で音楽CDを聞く場合は、設定をしてください。

23ページ

１．インストール

お使いのパソコンで本製品を使えるようにするために、ソフトウェア（ドライバ）をインストールします。



■はじめて本製品を使用する場合は、DVD-ROMドライブを接続する前に、USB 2.0コンバータケーブルのドライバをインストールする必要があります。
ドライバのインストール終了後、本製品をパソコンに接続できます。

■インストールを行う前に、起動しているプログラムをすべて終了してください。

■すべてのUSB機器（マウス、キーボードを除く）を取り外してください。

■ここでは、まだUSB 2.0コンバータケーブルをUSBポートに挿入しないでください。

■本製品をUSB 2.0で動作させるには、弊社製USB 2.0インターフェイスに接続する必要があります。

インストールするには、本製品以外のCD-ROMドライブが必要です。

本製品以外のCD-ROMドライブが無い！ 36ページ

1 **Windowsを起動します。**

Windows 2000の場合は、Administrator権限でログインします。

2 **「DVDビデオスターターキット（US2）」CD-ROMを挿入します。**

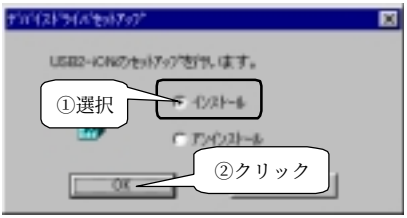
3 **自動で画面が表示されますので、[USB 2.0コンバータケーブルセットアップ]ボタンをクリックします。**

自動で表示されない場合は、CD-ROMの「setup」をダブルクリックしてください。



4 **[インストール]を選択し、[OK]ボタンをクリックします。**

このあと自動でインストールされます。

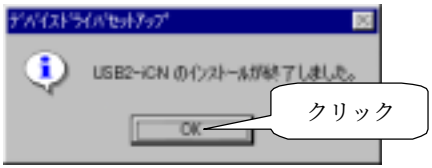


注意

このような画面が表示されたときは、すべてのUSB機器（マウス、キーボードを除く）を取り外して、もう一度手順*1*から行ってください。



5 **[OK]ボタンをクリックします。**



次ページへお進みください。

2．つなげる

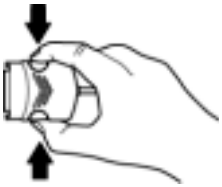
本製品をパソコンにつなげます。

注意

■必ずDVD-ROMドライブの電源をONにして、パソコンに接続してください。
DVD-ROMドライブの電源をONにせずにパソコンに接続してしまった場合は、
以下の手順にしたがってください。
①パソコンからUSB 2.0コンバータケーブルを抜きます。
②DVD-ROMドライブの電源をONにします。
③再度、USB 2.0コンバータケーブルを接続します。

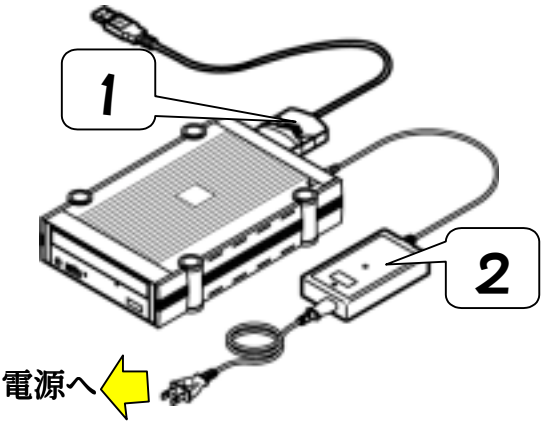
1 USB 2.0コンバータケーブルをDVD-ROMドライブに接続します。

右の図のように、両サイドを押しながらDVD-ROMドライブのi･CONNECTにまっすぐに差し込み、軽く引っ張って抜けないことをご確認ください。



2 DVD-ROMドライブを電源に接続します。

添付のACアダプタをDVD-ROMドライブの電源コネクタと電源コンセントに接続します。



3 DVD-ROMドライブの電源をONにします。

4 USB 2.0コンバータケーブルをUSBポートに接続します。

USBポートにまっすぐに差し込みます。

注意

「新しいハードウェア」画面が表示され、しばらくすると画面は消えます。

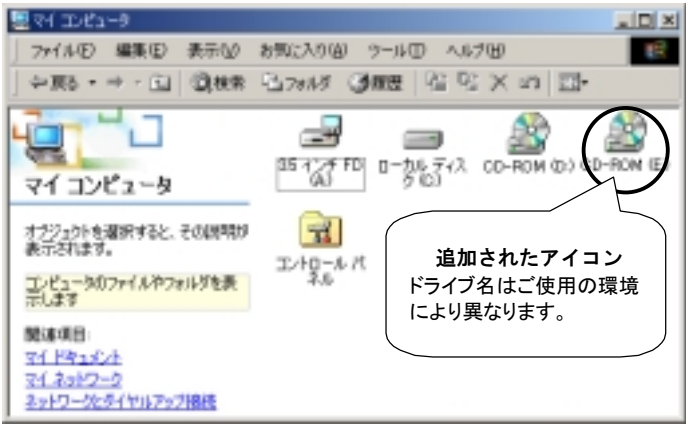
「新しいハードウェア」などが表示されたまま消えない

［キャンセル］ボタンをクリックし、いったんUSB 2.0コンバータケーブルをパソコンから取り外します。

ドライバが正常にインストールされていません。
再度、インストールから順に行ってサポートソフトをインストールしてください。

5 [マイコンピュータ]をダブルクリックし、[CD-ROM]アイコンが追加されていることを確認してください。

アイコンが追加されていれば、DVD-ROMドライブを使うことができます。次ページへお進みください。



アイコンが追加されていない場合

- [表示]メニューの[最新の情報に更新]をクリックしてみてください。
- DVD-ROMドライブの電源が入っていることをご確認ください。
- ケーブルの接続が正しく行われていることをご確認ください。
  （電源を切り、再度ケーブルを抜き差ししてください。）
- 【困った時には】内の「USB 2.0コンバータケーブルをUSBポートに接続しても認識しない」（44ページ参照）

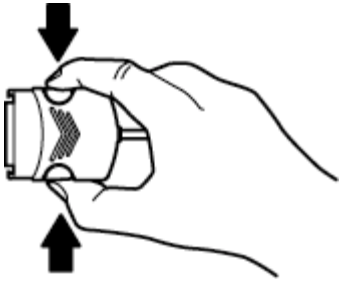
３．基本操作をおぼえる

次回からの「つなげ方」「外し方」をおぼえてください。

つなげ方

1 **USB 2.0コンバータケーブルをDVD-ROMドライブに接続します。**

以下の図のように両サイドを押しながらDVD-ROMドライブのi･CONNECTにまっすぐに差し込み、軽く引っ張って抜けないことをご確認ください。



2 **DVD-ROMドライブを電源コンセントに接続します。**

添付のACアダプタをDVD-ROMドライブの電源コネクタと電源コンセントに接続します。

3 **DVD-ROMドライブの電源をONにします。**

4 **USB 2.0コンバータケーブルをUSBポートに接続します。**

USBポートにまっすぐに差し込みます。

外し方

外し方には2通りあります。

●パソコンの電源を切って取り外す

1 DVD-ROMドライブからディスクを取り出します。

注意

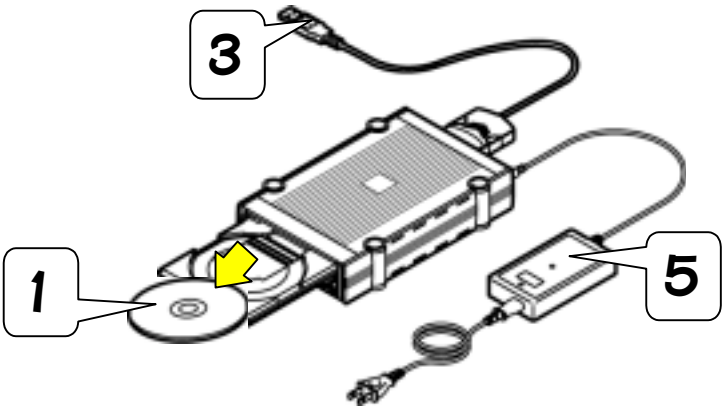
USBポートからUSB 2.0コンバータケーブルを抜く前に、必ずディスクを取り出してください。
ディスクを挿入しているときや読み込み中に抜いた場合、システムが不安定になったり、ディスクのデータが破損する場合があります。

2 パソコンの電源を切ります。

3 USB 2.0コンバータケーブルをUSBポートから抜きます。

4 DVD-ROMドライブの電源を切ります。

5 DVD-ROMドライブからUSB 2.0コンバータケーブルと
ACアダプタを外します。



●パソコンの電源を切らずに取り外す

注意

- 以下の終了手順を行わずにUSB 2.0コンバータケーブルをUSBポートから取り外すと、予期しない障害が発生する可能性があります。
- 弊社製USB 2.0インターフェイスでお使いの場合は、各取扱説明書をご覧ください。

Windows Me/98の場合

1 タスクトレイの［アンプラグ］アイコンをクリックします。

2 表示された［HITACHI DVD･････］をクリックします。



3 ［OK］ボタンをクリックします。



「取り外しができません。」という旨のエラーメッセージが表示された

→ 使用中のアプリケーションを全て終了した後に、もう一度本手順を行います。

↓

それでもエラーとなる場合は、Windowsを終了して（パソコンの電源を切って）から取り外してください。

4 USB 2.0コンバータケーブルをUSBポートから外します。

5 DVD-ROMドライブからUSB 2.0コンバータケーブルとACアダプタを外します。

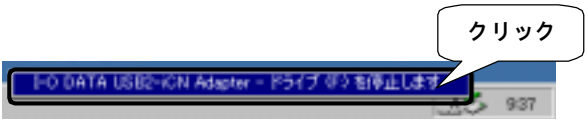
Windows 2000の場合

・終了手順-その１

1 タスクトレイのリムーバブルツールをクリックします。



2 表示された［I-O DATA USB2-iCN‥‥］をクリックします。



「取り外しができません。」という旨のエラーメッセージが表示された

使用中のアプリケーションを全て終了した後に、もう一度本手順を行います。

それでもエラーとなる場合は、Windowsを終了して（パソコンの電源を切って）から取り外してください。

3 ［OK］ボタンをクリックします。



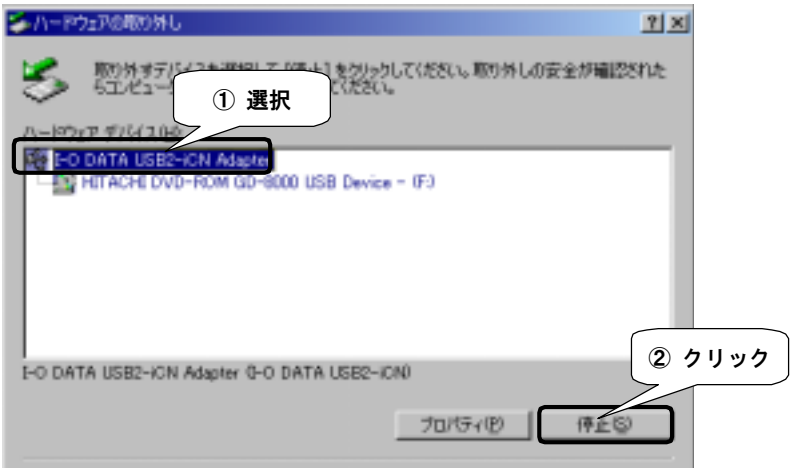
4 USB 2.0コンバータケーブルをUSBポートから外します。

・終了手順-その２

1 タスクトレイのリムーバブルツールをダブルクリックします。

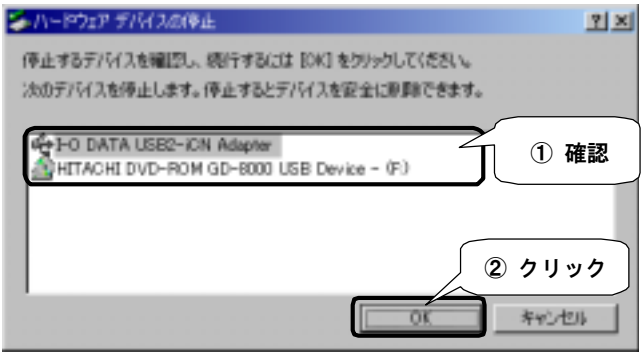
「ハードウェアの取り外し」が開きます。

2 [I-O DATA USB2-iCN Adapter]を選択し、[停止]ボタンをクリックします。



3 確認して、［OK］ボタンをクリックします。

［I-O DATA USB2-iCN Adapter］、と［HITACHI DVD-ROM GD-8000 USB Device］が表示されていることを確認し、［OK］ボタンをクリックします。



「取り外しができません。」という旨のエラーメッセージが表示された

使用中のアプリケーションを全て終了した後に、もう一度本手順を行います。

それでもエラーとなる場合は、Windowsを終了して（パソコンの電源を切って）から取り外してください。

4 ［OK］ボタンをクリックします。



5 USB 2.0コンバータケーブルをUSBポートから外します。

ディスクの入れ方/出し方

注意

- ディスクの出し入れを行うときは、本製品の電源をONにしてください。
- ディスクに異物（CD-Rディスクの仕切りなど）が付いていないことを十分ご確認の上、入れてください。異物が付いたままだと、故障の原因となります。
- ディスクの記録面には触れないでください。
- ディスクは確実にセットしてください。確実にセットしないと、ディスクが外れ傷つく恐れがあります。
- トレイを無理に引き出したり、押し込んだりしないでください。DVD-ROMドライブのローディング部が破損する恐れがあります。
- 12cmディスクを使うときは大きい円形のくぼみに、8cmディスクを使うときは小さい円形のくぼみに乗せてください。両ディスクを同時にトレイに乗せないでください。
- DVD-ROMドライブが傾いていないことを確認してからディスクを取り出してください。（DVD-ROMドライブが傾いた状態で取り出しを行うと、途中でディスクが内部に落下する恐れがあります。）

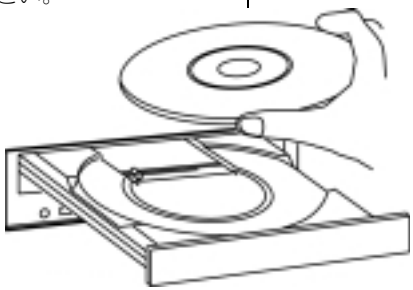
1 **DVD-ROMドライブ前面のイジェクトボタンを押します。**

トレイが出てこない場合は46ページをご覧ください。

2 **ディスクを入れます。**

ディスクのラベル面を上にして、トレイの上にディスクを静かに置いてください。

ディスクをゆっくり取り出します。



3　イジェクトボタンを押す、またはトレイをかるく押します。

トレイはすみやかに収納してください。トレイが排出状態だと内部にゴミがはいり、リード/ライトエラーまたは、故障の原因となる恐れがあります。

4．音楽CDを聞く

本製品のDVD-ROMドライブに音楽CDを入れて聞く場合には、以下の設定をしてください。

パソコン本体がデジタルオーディオ機能に対応していればパソコン本体のスピーカーから音楽CDを聞くこともできます。（その際、オーディオケーブルおよびアンプ付きスピーカーは必要ありません。）
まずはお使いのパソコンがデジタルオーディオ機能に対応しているか確認しましょう。

お使いのOSにより確認方法が異なります。
お使いのOSにあったページのみご覧ください。

Windows Meの場合 → **24ページ**

Windows 98の場合 → **26ページ**

Windows 2000の場合 → **28ページ**

注意

- **デジタルオーディオ機能で音楽CDを再生する場合、ハードディスクのアクセス中など、パソコンの動作状況によっては雑音が聞こえることがあります。**
- **デジタルオーディオ再生機能を使用する場合、本製品のLINE OUT端子からは音声は出力されません。**

デジタルオーディオ機能対応の確認/設定

●Windows Meの場合

1 本製品をパソコンに接続します。

2 [システムのプロパティ]画面を表示させます。

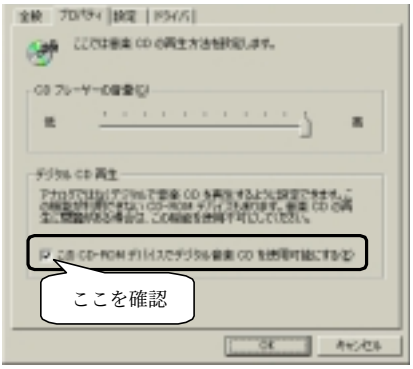
[マイコンピュータ]を右クリックして、[プロパティ]をクリックします。

3 本製品のプロパティを表示させます。

[デバイスマネージャ]タブをクリックし、[CD-ROM]をダブルクリックして、表示された[HITACHI DVD…]をダブルクリックします。

4 以下の確認をします。

[プロパティ]タブをクリックし、「このCD-ROMデバイスでデジタル音楽CDを使用可能にする」という表示があるかどうかを確認します。



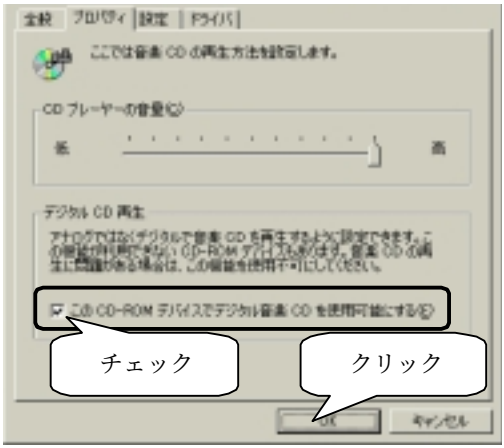
表示が無い場合（表示が薄い（グレーの）場合）

お使いのパソコンがデジタルオーディオ機能に対応していません。【パソコンまたはアンプ付きスピーカーで聞く】(31ページ)へお進みください。

表示がある場合

デジタルオーディオ機能を使用できます。次ページへお進みください。

5 「このCD-ROMデバイスでデジタル音楽CDを使用可能にする」をチェックし、［OK］ボタンをクリックします。



●Windows 98の場合

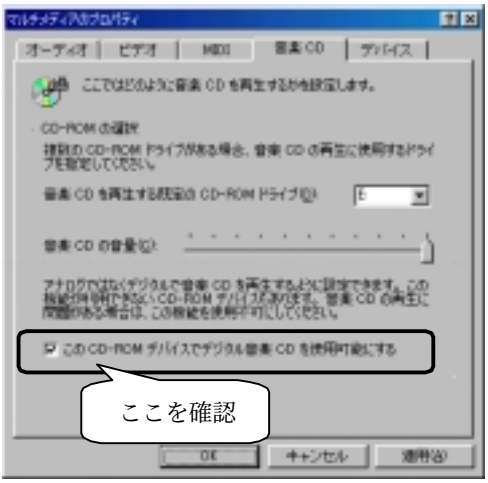
1 本製品をパソコンに接続します。

2 [マルチメディアのプロパティ]画面を表示させます。

［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］内にある［マルチメディア］アイコンをダブルクリックします。

3 「音楽CD」タブをクリックします。

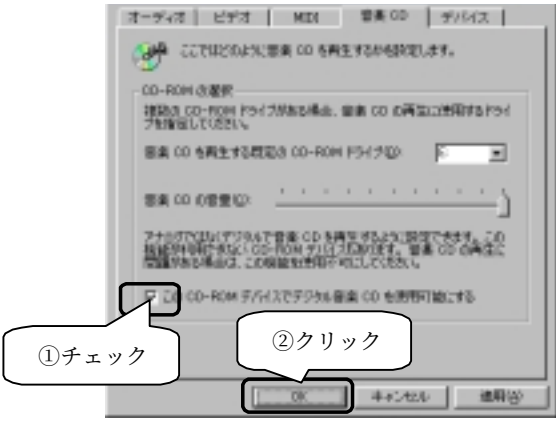
4 「このCD-ROMデバイスでデジタル音楽CDを使用可能にする」という表示があるかどうかを確認します。



表示が無い場合（表示が薄い（グレーの）場合） → **お使いのパソコンがデジタルオーディオ機能に対応していません。【パソコンまたはアンプ付きスピーカーで聞く】(31ページ)へお進みください。**

表示がある場合 → **デジタルオーディオ機能を使用できます。次ページへお進みください。**

「このCD-ROMデバイスでデジタル音楽CDを使用可能にする」をチェックし、［OK］ボタンをクリックします。



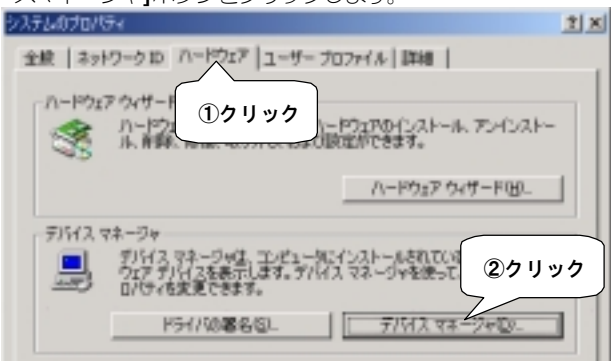
以上で設定終了です。

●Windows 2000の場合

1 本製品をパソコンに接続します。

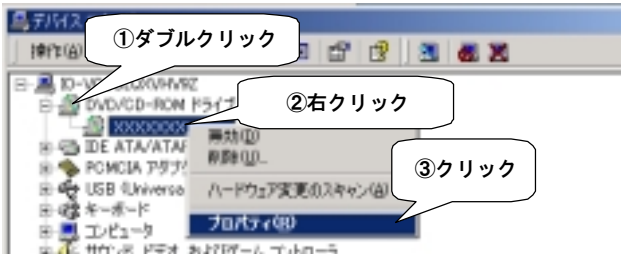
2 [デバイスマネージャ]画面を表示させます。

［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］内にある［システム］アイコンをダブルクリックし、［ハードウェア］タブをクリックし、[デバイスマネージャ]ボタンをクリックします。

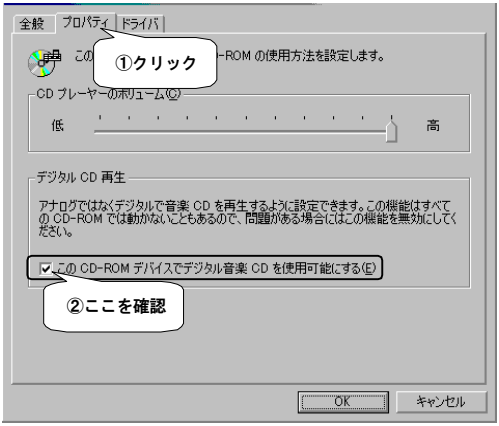


3 接続したドライブのプロパティを開きます。

[DVD/CD-ROMドライブ]をダブルクリックして、下に表示される[HITACHI DVD…]を右クリックし、表示されたメニューから[プロパティ]をクリックします。



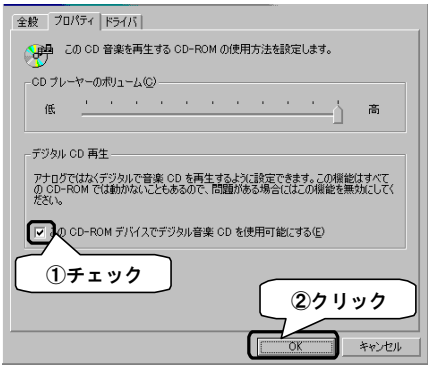
4 **[プロパティ]タブをクリックし、「このCD-ROMデバイスでデジタル音楽CDを使用可能にする」という表示があるかどうかを確認します。**



表示が無い場合（表示が薄い（グレーの）場合） → **お使いのパソコンがデジタルオーディオ機能に対応していません。【パソコンまたはアンプ付きスピーカーで聞く】(31ページ)へお進みください。**

表示がある場合 → **デジタルオーディオ機能を使用できます。次ページへお進みください。**

「このCD-ROMデバイスでデジタル音楽CDを使用可能にする」をチェックし、［OK］ボタンをクリックします。



以上で設定終了です。

・デジタルオーディオ機能で音楽CDを再生する場合、ハードディスクのアクセス中など、パソコンの動作状況によっては雑音が聞こえることがあります。
・デジタルオーディオ再生機能を使用する場合、本製品のLINE OUT端子からは音声は出力されません。

パソコンまたはアンプ付きスピーカーで聞く

方法ーその1

市販のオーディオケーブルで本製品の「LINE OUT」端子とパソコンの「LINE IN」を接続すれば、パソコンの内蔵スピーカーで音楽CDを聞くことができます。

コラム

音量の調整

音量は、デスクトップ画面右下のタスクトレイ内の［サウンド］アイコンをクリックして表示される音量を使って調整してください。



方法ーその2

本製品の「LINE OUT」端子にアンプ付きスピーカーを接続すれば、聞くことができます。

注意

- **本製品に接続するスピーカーは必ずアンプ付きのものをご使用ください。アンプ付きでない場合、音量が小さくて聞こえません。**
- **本製品に音量調整機能はありません。音量調整機能付きのスピーカーで音量を調整してください。**

MEMO

使ってみよう

ここでは、添付のDVDビデオを見るためのソフトウェア「PowerDVD VR-X」の紹介をしています。
詳しくは、別冊の「PowerDVD VR-Xクイックガイド」をご覧ください。

DVDビデオを見る

「PowerDVD VR-X」を使ってみましょう。

34ページ

DVDビデオを見る

DVDビデオを見るには、添付の「PowerDVD VR-X」などのDVDデコーダが必要です。
インストール方法や使用方法については、別冊の「PowerDVD VR-Xクイックガイド」をご覧ください。



《PowerDVD VR-Xを使用する際のご注意》

- **本製品のリージョンコードは、出荷時状態で“２”に設定されています。リージョンコードを変更した場合は、保証致しかねます。**
- **使用方法の詳細については、PowerDVD VR-Xオンラインヘルプをご覧ください。**

『PowerDVD VR-X』に関するお問い合わせは…

サイバーリンク㈱までお問い合わせください。
58ページをご覧ください。

付録

必要に応じてお読みください。

CD-ROMでインストールできない

本製品以外のCD-ROMドライブが無いため、添付CD-ROMでインストールできない場合にご覧ください。

36ページ

インストールしたドライバの削除

インストールしたドライバを削除します。

41ページ

困った時には

トラブルが起こったときにご覧ください。

43ページ

仕様

本製品の仕様です。

56ページ

CD-ROMでインストールできない

ここでは、本製品添付のCD-ROMを使用せずにインストールする方法を紹介します。
お使いのパソコンに本製品以外のCD-ROMが付いていない場合にご覧ください。

本製品のドライバが入ったフロッピーディスクを作成して、そのフロッピーディスクを使用することで、インストールすることができます。
空きフロッピーディスクは「3.5インチ2HD：1.44MB」をご用意ください。

「インストール用フロッピーディスク」を作成するには、以下の2つの方法があります。環境に合った方を選択してください。

ご確認ください。

選択

ご使用のパソコンで、インターネットに接続できる	CD-ROMドライブとフロッピーディスクドライブが付いたパソコンがもう1台ある
次ページ	39ページ
ダウンロードする	**他のパソコンを使う**

ダウンロードする

1 ハードディスクドライブ（Windowsがインストールされているドライブ）に、任意のフォルダを新規作成します。

≪フォルダ作成例≫

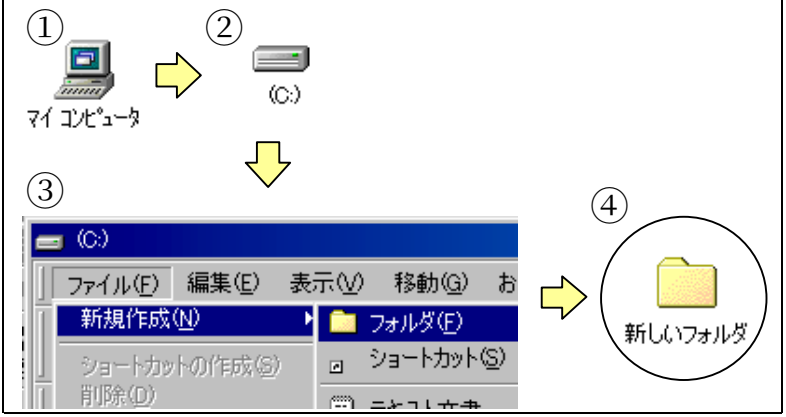
Cドライブに「新しいフォルダ」という名前のフォルダを作成します。

①[マイコンピュータ]をダブルクリックします。

②[（C:）]をダブルクリックします。

③メニューから、[ファイル]→[新規作成]→[フォルダ]をクリックします。

④[新しいフォルダ]という名前のフォルダが追加されていることを確認します。



2 弊社ホームページ（http://www.iodata.co.jp/）より、「USB 2.0CC サポートソフト」ファイルを入手します。

LHA形式（[ファイル種別]：「SFXイメージデータ」）のファイルを *1* で作成したフォルダにダウンロードしてください。

3 入手したファイルを、手順 *2* で作成したフォルダで展開します。

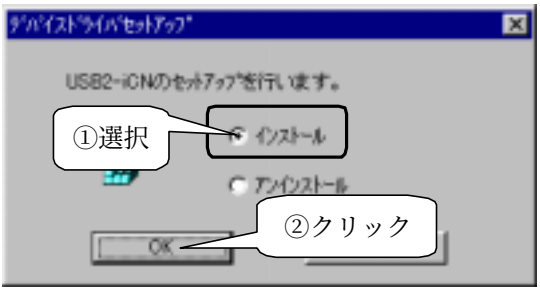
展開方法は、ホームページ上の説明ファイルをお読みください。

4 **展開したファイルの「DISK.EXE」をダブルクリックします。**
画面の指示にしたがって「インストール用フロッピーディスク」を作成してください。

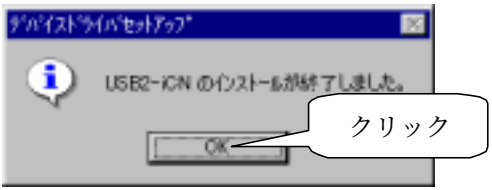
5 **作成したフロッピーディスクを、本製品を使用するパソコンに挿入します。**

6 **[マイコンピュータ]→[3.5インチFD]→[Ddsetup]をダブルクリックします。**

7 **[インストール]を選択し、[OK]ボタンをクリックします。**
このあと自動でインストールされます。



8 **[OK]ボタンをクリックします。**



このあと、【2．つなげる】（12ページ）へお進みください。

他のパソコンを使う

1 **空きフロッピーディスクを、CD-ROMドライブが付いたパソコンのフロッピーディスクドライブに入れます。**

2 **CD-ROMドライブが付いているパソコンに「DVDビデオスターターキット(US2)」CD-ROMを入れます。**

3 **CD-ROM内の以下のフォルダ（ファイル）をフロッピーディスクにコピーします。**

「Win2000」フォルダ、「Win98_me」フォルダ、「Ddsetup.exe」

≪コピー方法≫

CD-ROMの「Win2000」フォルダを空きのフロッピーディスクにフォルダ（ファイル）をコピーします。

（「Win98_me」フォルダ、「Ddsetup.exe」についても同じ作業をしてください。）

①[マイコンピュータ]をダブルクリックします。

②CD-ROMアイコンをダブルクリックします。

※CD-ROMの内容が表示されない場合は、CD-ROMアイコンを右クリックして、表示されるメニューから[開く]をクリックしてください。

③「Win2000」フォルダをクリックします。

④メニューから[編集]→[コピー]をクリックします。

⑤[マイコンピュータ]をダブルクリックします。

⑥[3.5 インチ FD]をダブルクリックします。

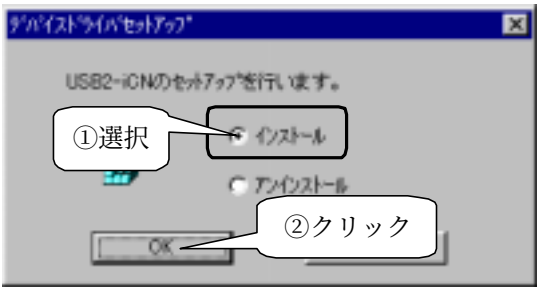
⑦メニューから[編集]→[貼り付け]をクリックします。

以上でコピーできました。

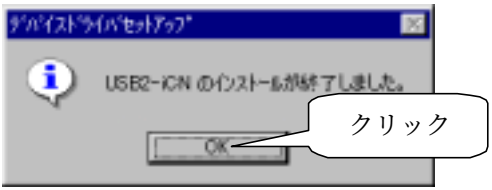
4 **作成したフロッピーディスクを、本製品を使用するパソコンに挿入します。**

5 **[マイコンピュータ]→[3.5インチFD]→[Ddsetup]をダブルクリックします。**

6 **[インストール]を選択し、[OK]ボタンをクリックします。**
このあと自動でインストールされます。



7 **[OK]ボタンをクリックします。**



このあと、【２．つなげる】（12ページ）へお進みください。

インストールしたドライバの削除

本製品を再びインストールする場合は、インストールされた情報を削除（アンインストール）する必要があります。

1 パソコンの電源を切り、USB 2.0コンバータケーブルを取り外します。

2 パソコンの電源を入れます。

3 「DVDビデオスターターキット（US2）」CD-ROMを挿入します。

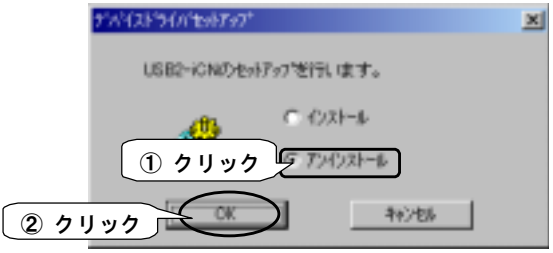
「インストール用フロッピーディスク」でインストールした場合は、作成した「インストール用フロッピーディスク」をセットし、フロッピーディスク内の「ddsetup」をダブルクリックしてください。その後、手順**5**へお進みください。

4 自動で画面が表示されますので、[USB 2.0コンバータケーブルセットアップ]ボタンをクリックします。

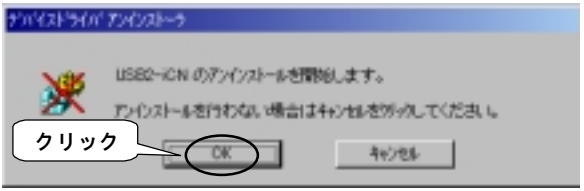
自動で表示されない場合は、CD-ROMの「setup」をダブルクリックしてください。



5 「アンインストール」を選択し、[OK]ボタンをクリックします。



6 [OK] ボタンをクリックします。

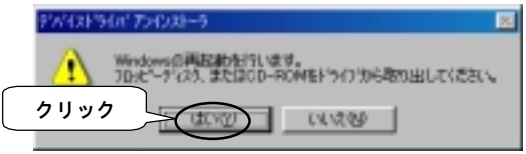


7 [OK] ボタンをクリックします。



8 挿入したCD-ROMを抜きます。

9 [はい] ボタンをクリックします。



以上でドライバの削除は終了です。

困った時には

本製品を使用していて異常があった場合にご覧ください。

状態 ⇒ 一般的なトラブル	参照ページ
パソコンにCD-ROMドライブがないため、インストールできない	44
USB 2.0コンバータケーブルをUSBポートに接続しても認識しない	44
ディスクを読んでいると他のUSB機器が認識されない	45
ディスクを挿入しても反応がない	45
DVD-ROMドライブの電源ランプが点灯しない	45
ディスクが取り出せない	46
DVD-ROMドライブのランプ（BUSYランプ）が点灯しない	47
音が聞こえない	47

状態 ⇒ Windows Me/98でのトラブル	参照ページ
正しくインストールされない	50
PC98-NXシリーズをお使いで「デバイスマネージャ」タブが表示されない	52

状態 ⇒ Windows 2000でのトラブル	参照ページ
正しくインストールされない	53

●一般的なトラブル

パソコンにCD-ROMドライブがないため、インストールできない

対処１	インターネットの弊社ホームページから、ダウンロードしてください。（37ページ）
対処２	他のCD-ROMがあるパソコンで、添付CD-ROMからフロッピーディスクにコピーし、そのフロッピーディスクを使用してください。（39ページ）

USB 2.0コンバータケーブルをUSBポートに接続しても認識しない

原因１	他のUSB機器にバスを占有されている。（弊社製USB-CCDでキャプチャしているなど）
対処	この場合、すぐには認識されません。他のUSB機器の占有が終わってから、USB 2.0コンバータケーブルをUSBポートに接続してください。

原因２	USBポートによっては認識しない場合があります。
対処１	接続するポートを変えてください。
対処２	USBハブ接続している場合は、USBハブに接続せずに、パソコン本体のUSBポートに接続してください。

原因３	インストールが正しく行われていない。
対処	【正しくインストールされない】（Windows Me/98は50ページ、Windows 2000は53ページ）をご覧ください。

ディスクを読んでいると他のUSB機器が認識されない

原因	USB2.0コンバータケーブルがバスを占有している。
対処	この場合、すぐには認識されません。本製品の占有が終わってから、他のUSB機器をUSBポートに接続してください。

ディスクを挿入しても反応がない

原因	他のUSB機器にバスを占有されている。 （弊社製USB-CCDでキャプチャしているなど）
対処	この場合、すぐには認識されません。他のUSB機器の占有が終わってから、ディスクを使用することができます。

DVD-ROMドライブの電源ランプが点灯しない

原因１	DVD-ROMドライブの電源スイッチがONになっていない場合があります。
対処	DVD-ROMドライブの電源スイッチをONにしてください。

原因２	電源コード(ACアダプタ)が接続されていない場合があります。
対処	電源コード(ACアダプタ)がコンセントに確実に接続されていることを確認してください。

原因３	DVD-ROMドライブが故障している場合があります。
対処	弊社修理係にご依頼ください。（62ページ参照）

ディスクが取り出せない

原因1	使用中のアプリケーションでイジェクトを禁止している場合があります。
対処	使用中のアプリケーションを終了後にイジェクトボタンを押してください。

原因2	トレイに何かが引っ掛かっている場合があります。
対処	以下を参照し、取り出してください。 **・以下の操作は、あくまで緊急のための操作です。むやみにご使用になると故障の原因となります。** **・以下の操作は、DVD-ROMドライブおよびパソコン本体の電源をOFFにした状態で行ってください。** **・DVD-ROMドライブが傾いていないことを確認してから、ディスクを取り出してください。（DVD-ROMドライブが傾いた状態で取り出しを行うと、途中でディスクがDVD-ROMドライブ内に落下する恐れがあります。）** **・以下の方法で取り出せなかった場合は、無理に引き出さず弊社修理係にご依頼ください。** 必要なもの…太さ1.3㎜程度、長さ55㎜以上（指で持つ部分を除く）の針金1本。大きめのペーパークリップを伸ばしても使用する事ができます。 ①パソコンおよびDVD-ROMドライブの電源を切ります。 ②強制イジェクトホールに針金を差し込み強く押します。 ③トレイが15㎜程度前に出るので手で更に引き出し、ディスクを取り出します。ディスクを取り出した後、トレイを押し戻してください。

原因3	DVD-ROMドライブが故障している場合があります。
対処	弊社修理係にご依頼ください。（62ページ参照）

DVD-ROMドライブのランプ（BUSYランプ）が点灯しない

原因１	ディスクが確実に入っていないことがあります。
対処	ディスクが確実に入っていることを確認してください。

原因２	ケーブルなどが確実に接続されていない場合があります。
対処	各ケーブルの接続を確認してください。

音が聞こえない

原因１	ディスクが確実に入っていない。
対処	ディスクが確実に入っていることを確認してください。

原因２	ディスクが変形/破損していたり、汚れている。
対処	変形/破損しているディスクは使用しないでください。また、汚れがある場合は汚れを取り除いてください。

原因３	音声データが入っていないディスクを入れている。
対処	音声データが入っているディスクを使用してください。



音楽CDとDVDビデオの音声について

音楽CDとDVDビデオの音声出力の方法は以下のようになります。

- ***音楽CD***

  通常はアナログのオーディオケーブルで接続します。
  Windows 98以降のOSでは、「デジタルオーディオ機能」を有効にすると、音声はデータとして扱われるため、オーディオケーブルの接続は不要になります。（デジタルオーディオ機能を有効にした場合は、アナログ信号は出力されません。また、音飛びが発生する可能性があります。）

- ***DVDビデオ***

  映像も音声もデータとして送信されるため、オーディオケーブルの接続は不要です。音声はパソコン本体のスピーカーから出力されます。（アナログ信号は出力されません。）

原因４	ケーブルが確実に接続されていない（アナログ再生）
対処	本製品とパソコンを市販のオーディオケーブルで接続している場合は、本製品(LINE OUT)およびパソコン(LINE IN)の接続を再度確認してください。 本製品にアンプ付きスピーカーを接続している場合は、本製品(LINE OUT)の接続を再度確認してください。

原因５	パソコンまたはOSが「デジタルオーディオ機能」に対応していない（デジタル再生）
対処	23ページ以降をご覧の上、「デジタルオーディオ機能」に対応しているかをご確認ください。対応していない場合は原因４の対処をご覧ください。対応している場合は「デジタルオーディオ機能」の設定をしてください。

原因６	音声ボリュームが「0」に設定されている。（Winodws Me/98）
対処	①タスクバー上のスピーカアイコンをダブルクリックします。 ②[オプション]→[プロパティ]をクリックし、[表示するコントロール]で[ライン入力]にチェックを入れます。 ③[OK]ボタンをクリックし、[ライン入力]の[選択]にチェックを入れます。または、ライン入力の[ミュート]のチェックを外します。 ④ボリュームを調節します。 ⑤ウィンドウ右上の[ｘ]ボタンをクリックし、設定ウィンドウを終了します。

原因７	ヘッドホンボリュームの音量が最小になっている場合があります。
対処	ヘッドホンボリュームの音量を上げて(右に回す)みてください。

原因８	ヘッドホン端子にプラグがしっかり接続されていない。
対処	プラグをしっかりと接続します。

原因９	ヘッドホンやスピーカーなどが故障している。
対処	他の機器で使用してみるなどして、ご使用のヘッドホンが正常か確認してください。

●Winodws Me/98でのトラブル

正しくインストールされない

原因１ 誤認識されている。

対処

1 「システムのプロパティ」を開きます。

［マイコンピュータ］アイコンを右クリックし、表示された［プロパティ］をクリックします。

2 ［デバイスマネージャ］タブをクリックします。

3 ［種類別に表示］を選択します。

4 USBコントローラーの名前を確認します。

［ユニバーサルシリアルバスコントローラ］の下にあるUSBコントローラーの名前を確認します。

※通常、USBコントローラーは「～USB～Controller」という名前になっています。

USBコントローラーに［!］が付いている → **パソコンもしくはUSBインターフェイスの取扱説明書をご覧になり、正常になるように設定してください。**

5 ［接続別に表示］を選択します。

6 USBコントローラーの名前を探します。

手順**4**で確認したUSBコントローラーを探します。

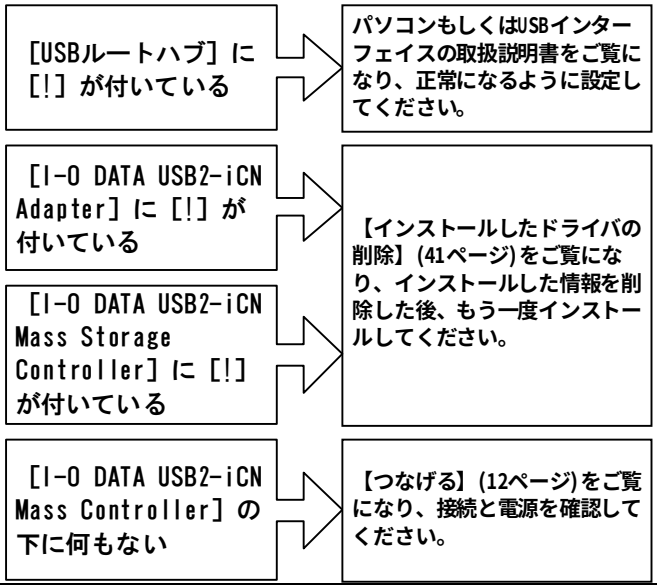
USBコントローラーの名前を確認します。

※通常、USBコントローラーは［PCIバス］の下にあります。［PCIバス］は、［Advanced Configuration and Power Interface (ACPI) BIOS］または［プラグアンドプレイBIOS］の下にあります。

対処

7 USBコントローラーの下を確認します。

USBコントローラーの下にあるドライバを確認します。



以上の確認をすべて行っても改善されない場合は、弊社サポートセンターにお問い合わせください。（59ページ参照）

原因2 インストールに失敗した。

対処

1 ドライバの削除をします。

40ページをご覧ください。

2 ドライバをインストールします。

10ページをご覧ください。

PC98-NXシリーズをお使いで「デバイスマネージャ」タブが表示されない

原因	アドバンスドモードになっていない。
対処	以下のようにしてください。 **1 「Cyber Trio-NXセットアップ」を起動します。** ［スタート］→［プログラム］→［Cyber Trio-NX］（［NXユーティリティ］、［NXの設定］）→［Cyber Trio-NXセットアップ］を起動します。 **2 「アドバンスドモード」にします。** 「アドバンスドモード」にチェックし、［OK］ボタンをクリックします。 **3 Windowsを再起動します。** 自動で再起動されます。

●Windows 2000でのトラブル

正しくインストールされない

原因１ 誤認識されている。

対処

1 「システムのプロパティ」を開きます。

［マイコンピュータ］アイコンを右クリックし、表示された［プロパティ］をクリックします。

2 ［ハードウェア］タブをクリックし、［デバイスマネージャ］ボタンをクリックします。

3 ［種類別に表示］を選択します。

4 USBコントローラーの名前を確認します。

［ユニバーサルシリアルバスコントローラ］の下にあるUSBコントローラーの名前を確認します。

※通常、USBコントローラーは「～USB～Controller」という名前になっています。

USBコントローラーに［!］が付いている → **パソコンもしくはUSBインターフェイスの取扱説明書をご覧になり、正常になるように設定してください。**

5 ［接続別に表示］を選択します。

6 USBコントローラーの名前を探します。

手順**4**で確認したUSBコントローラーを探します。

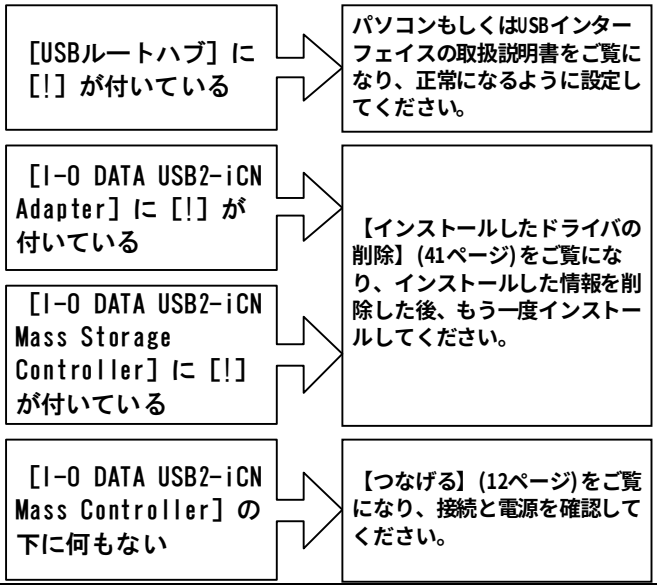
USBコントローラーの名前を確認します。

※通常、USBコントローラーは［PCIバス］の下にあります。［PCIバス］は、［Advanced Configuration and Power Interface (ACPI) BIOS］または［標準PC］の下にあります。

対処

7 USBコントローラーの下を確認します。

USBコントローラーの下にあるドライバを確認します。



以上の確認をすべて行っても改善されない場合は、弊社サポートセンターにお問い合わせください。（59ページ参照）

原因2 インストールに失敗した。

対処

1 「システムのプロパティ」を開きます。

［マイコンピュータ］アイコンを右クリックし、表示された［プロパティ］をクリックします。

2 ［デバイスマネージャ］タブをクリックします。

3 ［種類別に表示］を選択します。

対処

4 ［ユニバーサル シリアルバスコントローラ］をダブルクリックしたときに表示されるUSBコントローラ名をメモします。

5 ［接続別に表示］を選択します。

6 4 でメモしたUSBコントローラを探します。

「プラグアンドプレイBIOS」や「PCIバス」の中にある場合があります。

7 6 で見つけたUSBコントローラをダブルクリックします。

8 表示されたデバイス名をすべてメモします。

9 消えたデバイスがないかを確認します。

本製品のケーブルをUSBポートから外し、 **8** でメモしたデバイスの中から消えたデバイスがないかを確認します。
消えたデバイスがない場合は、「USBルートハブ」や「一般USBハブ」という項目で手順 **8** ， **9** をお試しください。

10 消えたデバイスを削除します。

再度、本製品のケーブルをUSBポートに接続すると、**9** で消えデバイスが再度表示されますので、これを[削除]ボタンをクリックし削除します。

11 もう一度インストールします。

【2．インストール】（10ページ）をご覧になり、インストールを行ってください。

仕様

●DVD-ROMドライブ

インターフェイス仕様	i･CONNECT
設置条件	設置方向：水平･垂直 設置角度：±５°以下
ディスクローディング方式	トレイタイプオートローディング
データバッファサイズ	512KB
読み出し速度（最大）	22.1MB/Sec（DVD-ROM） 7.2MB/Sec（CD-ROM）
平均アクセスタイム	120ms（DVD-ROM） 90ms（CD-ROM）
対応フォーマット（リードのみ）	DVD-ROM、DVD-RAM※（2.6/4.7GB TypeⅡのみ）、 DVD-R※(4.7/3.95GB)、DVD-Video、DVD-RW※、 CD-ROM（Mode1）、CD-ROM XA（Mode2）、CD-R/RW、CD-I、 CD-DA（音楽CD）、Photo CD、Video CD、CD-EXTRA、 CD-TEXT
アナログライン出力	0.7Vrms（47kΩ）
ヘッドホン出力	0.65Vrms（32Ω）
電源仕様	AC100V±10% 50/60Hz
定格出力	19.5W
動作温度	+5℃～+35℃（パソコンの動作する温度範囲であること）
動作湿度	20%～80%（結露なきこと）
外形寸法	162(W)×240(D)×48(H)mm（突起物除く）
質量	約1.5kg

※ UDF2.0フォーマット（DVDビデオレコーダーなど）で記録されたディスクには未対応です。

●USB2.0コンバータケーブル

対応規格	i･CONNECT規格およびUSB 2.0準拠
転送方式	コントロール転送／バルク転送／インタラプト転送
転送速度	USB 2.0：480Mbps（理論値） USB 1.1： 12Mbps（理論値）
動作温度	+5～+35℃
動作湿度	20～80%（結露なきこと）
外形寸法	44(W)×56(L)×14(H)mm
ケーブル長	約100cm
質量	約80g

●i･CONNECTについて

本製品は「i･CONNECT ™ 」に対応しています。
「i･CONNECT」とは、内蔵型の各種IDE/ATAPIドライブを外付型デバイスとして幅広く活用するためにアイ・オーが考案した接続用コネクタ規格です。

IDE/ATAPIドライブは多くのパソコン本体に標準実装されているため、最新の高性能ドライブをタイムリーにローコストで安定供給できます。

また、「i･CONNECT」搭載ドライブはマルチインターフェイス対応です。
コンバータケーブルにより「USB」や「IEEE1394(FireWire, i.LINK)」ドライブ、Duo ATA PCカードでそのまま「IDE/ATAPI」ドライブとしても使用できます。



お問い合わせ先

PowerDVD VR-X

「PowerDVD VR-X」のお問い合わせ

●お問い合わせ先	サイバーリンク株式会社
ユーザーサポートページURL	http://www.cli.co.jp/support/
E-mail	support@cli.co.jp
TEL	03-3662-8076
FAX	03-3662-8009
受付時間	10:00～13:00、14:00～17:00 **月～金曜日(祝祭日を除く)**

インターネット環境をお持ちでない方は、下記の必要事項をご記入、もしくはご確認いただき、サイバーリンク㈱までFAXまたはTELにてお問い合わせください。

▼必要事項

1. 記入日
2. 氏名（ユーザー登録名）
3. TEL番号
4. FAX番号
5. 住所
6. 製品名およびソフトウェアのバージョン
7. CD-Key番号（「PowerDVD VR-Xクイックガイド」内【PowerDVD VR-Xのインストール】に記載されています。）
8. お使いのＰＣ環境
   - ・OS環境（メーカー名、製品名およびバージョン）
   - ・パソコン（CPU（例：Pentium Ⅲ 500）およびメモリ容量）
   - ・ハードウェア構成（メーカー名、製品名）
   - ・DVDドライブ（例：I-O DATA製、DVD-i16/US2）

サイバーリンク㈱ ユーザー登録（PowerDVD VR-X用）

本製品添付の「PowerDVD VR-Xクイックガイド」をご覧になり、ユーザー登録を行ってください。

DVD-ROMドライブ

お知らせいただく事項

1. お客様の住所・氏名・郵便番号・連絡先の電話番号及びFAX番号
2. ご使用の弊社製品名。
3. ご使用のサポートソフトのバージョン。
4. ご使用のパソコン本体と周辺機器の型番。
5. ご使用のOSとアプリケーションの名称、バージョン及びメーカー名。
6. 現在の状態(「マイコンピュータにCD-ROMアイコンが表示されない」などの内容)。

オンライン

インターネット　**http://www.iodata.co.jp/support/**
「サポートセンターお問い合わせ」内のフォームを
使用してE-mailをお送りください。

郵便

〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地 ｱｲ･ｵｰ･ﾃﾞｰﾀ第2ビル
住所　株式会社アイ・オー・データ機器
サポートセンター「DVD-i16/US2」係　宛

電話・FAX

電話番号　**本社　076-260-3688　東京　03-3254-1095**
電話受け付け時間　**9:30～19:00　月～金曜日(祝祭日を除く)**
FAX番号　**本社　076-260-3360　東京　03-3254-9055**

本製品に関するお問い合わせはサポートセンターのみで行っています。予めご了承ください。

弊社ユーザー登録（DVD-ROMドライブ用）

1 添付のハードウェアシリアルNo. シールを貼ってください。

ユーザー登録カード、ハードウェア保証書に貼ってください。

2 オンライン登録する場合

http://www.iodata.co.jp/regist/

インターネットに接続できる環境をお持ちの場合はこちらでユーザー登録を行ってください。

I-O DATA ホームページにて、ユーザー登録を行ってください。

オンライン・ユーザー登録後、お手元のユーザー登録カードには、ユーザー登録番号を記入して大切に保管してください。

ハガキで登録する場合

ユーザー登録カードに、必要な事項をご記入のうえ、弊社までご返送ください。

サポートソフトのバージョンアップ

入手方法は以下の通りです。

オンライン

インターネット　**http://www.iodata.co.jp/**　→「サポート・ライブラリ」

サービス窓口からの郵送

下記の窓口までお問い合わせください。（送料及び手数料はお客様負担）

住所　〒920-8513　石川県金沢市桜田町2丁目84番地 ｱｲ･ｵｰ･ﾃﾞｰﾀ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
「DVD-i16/US2」　サービス窓口　宛
電話番号　076-260-3663
受付時間　9:30～12:00　13:00～17:00　月～金曜日（祝祭日を除く）

ご注意

●オンラインによるダウンロードはお客様の責任のもとで行ってください。
●添付ソフトウェアの中には、当サービス対象外のソフトウェアもあります。

修理について

修理の前に

故障かな？と思ったときは、
①本書をもう一度ご覧いただき、設定などをご確認ください。
②弊社サポートセンターへお問い合わせください。
（【サポートセンターへのお問い合わせ】をご覧ください）

明らかに故障の場合は、下記内容を参照して、本製品をお送りください。

修理について

本製品の修理をご依頼される場合は、以下の事項をご確認ください。

●内部のデータについて

・検査の際には、内部のデータはすべて消去されてしまいます。
（厳密な検査を行うためです。どうぞご了承ください。）
※データに関しては、弊社はいっさいの責任を負いかねます。
バックアップできる場合は、修理にお出しになる前にバックアップしてください。
・弊社では、データの修復は行っておりません。

●お客様が貼られたシールなどについて

修理の際に、製品ごと取り替えることがあります。
その際、表面に貼られているシールなどは失われますので、ご了承ください。

●修理金額について

・保証期間中は、無償にて修理いたします。
ただし、ハードウェア保証書に記載されている「保証規定」に該当する場合は、有償となります。
※保証期間については、ハードウェア保証書をご覧ください。
・保証期間が終了した場合は、有償にて修理いたします。
※弊社が販売終了してから一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。
・お送りいただいた後、有償修理となった場合のみ、往復はがきにて修理金額をご案内いたします。
修理するかをご検討の上、検討結果を記入してご返送ください。
（ご依頼時にFAX番号をお知らせいただければ、修理金額をFAXにて連絡させていただきます。）

修理品の依頼

本製品の修理をご依頼される場合は、以下を行ってください。

●メモに控え、お手元に置いてください

お送りいただく製品の製品名、ハードウェアシリアルNO.、お送りいただいた日時をメモに控え、お手元に置いてください。

●これらを用意してください

・必要事項を記入した本製品のハードウェア保証書（コピー不可）
　※ただし、保証期間が終了した場合は、必要ありません。
・下の内容を書いたもの
　返送先［住所/氏名/(あれば)FAX番号］,日中にご連絡できるお電話番号,
　ご使用環境（機器構成、OSなど）,故障状況（どうなったか）

●修理品を梱包してください

・上で用意した物を修理品と一緒に梱包してください。
・輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材にて梱包してください。
　※ご購入時の箱・梱包材がない場合は、厳重に梱包してください。

●修理をご依頼ください

・修理は、販売店へご依頼いただくか、下の送付先※までお送りくださいますようお願いいたします。
　※ **原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様ご負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。**
・送付の際は、紛失等を避けるため、宅配便か書留郵便小包でお送りください。

送付先　〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器　修理係　宛

修理品の返送

・修理品到着後、通常約１週間ほどで弊社より返送できます。
　※ただし、有償の場合や、修理内容によっては、時間がかかる場合があります。
・修理品の返送日については以下の窓口にお問い合わせください。

●サービス窓口

お問い合わせの際は、ご依頼の際にメモに控えた内容をお伝えください。

電話番号　076-260-3663
受付時間　9:30～12:00　13:00～17:00
月～金曜日（祝祭日を除く）